

タウンマネジメント事業

中心市街地における空きテナントや公共空間のリノベーションやまちづくり会社の設立・運営サポート、まちなか活性化事業の企画・運営・推進に取り組んでいます。

リノベーション事業

● さっぽろチャレンジオフィス (H18～24年度)

札幌商工会議所が中心となって推進している「中心市街地活性化事業」のひとつとして、都心部のビル空室の有効活用とにぎわいの創出を推進するためのパイロット事業。ビル空室のリノベーション事業のビジネスモデル構築とともに、個人事業者、起業家、SOHO、NPO等の事業や活動への支援、都心部で活動する人材や組織の交流・連携を促進することを目的としたプロジェクトです。



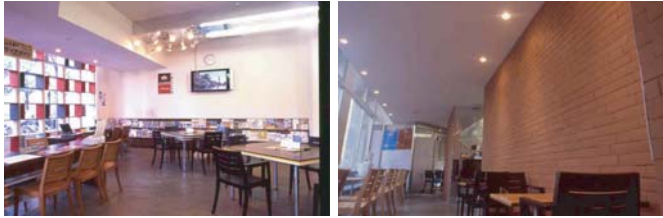
● 元気カフェの計画・設計コーディネート業務 (H20～24年度)

札幌市が、「障がい者の自立支援の促進」を目的として、障がいのある方の雇用の場の拡充とともに、接客等を通じた市民との交流機会を創出し障がい者に対する理解促進を図るために設置する「元気カフェ」の計画策定、デザインマネジメント業務。これまで、「元気カフェふらっと」(札幌市社会福祉総合センター1階アトリウム内/H20年度)、「元気カフェ」(札幌市役所本庁舎1階ロビー内/H22～23年度)、「元気カフェ本の森」(札幌市中央図書館アトリウム内/H24年度)の3店舗の整備に関わってきました。



● さっぽろ赤レンガカフェ (H16年度～19年度)

札幌・北海道のまちの魅力を発信し、地域の魅力を高めることを目的として、2004年に札幌TMOにより設立された、カフェ・観光情報・交流サロンの運営事業(2007年9月閉店)。インターネットや各観光資料の無料閲覧サービス、観光ボランティアによるガイド、さっぽろツーリズム(ミニツアー)の企画実施。

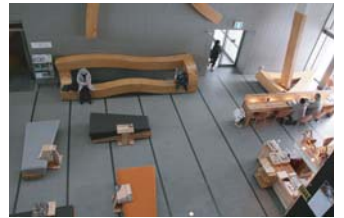


計画策定にあたっては、デザイン系大学の学生、障がい者支援団体のスタッフ、施設職員などによるワークショップを開催し、コンセプト、整備イメージ、取り組みアイデアをとりまとめ、利用者のおもいを具体的な設計に反映しました。また、カフェに置かれる家具の一部は、障がいのある方の丁寧な手仕事や糸鋸などの高い技術力によってつくられています。

元気カフェ(市庁舎ロビー)



元気カフェ本の森(札幌市中央図書館)



いずれも設計デザインは(株)p.b.vによる

都心公共空間の活用マネジメント事業

● 『kuraché(クラシェ)』 コーディネート業務 (H25年度～)

『クラシェ』は、暮らし×マルシェの造語。北海道の暮らしに新たなシーンを提案することを目的とした、つくり手とつかい手をつなぐマルシェ形式のPR・販売イベントです。公共スペースにおける魅力的なイベントのモデルとなることを目指し、歩行空間でありながら落ち着いた雰囲気でも立ち寄ることができる設えをデザイン。企画立案から出店者調整等の事務局業務を含めたトータルコーディネートを行っています(札幌駅前通まちづくり株式会社との共催)。



まちづくり組織サポート事業

● (仮称) 札幌市清田地区センター計画策定・運営組織設立 コーディネート業務 (H16～19年度)

(仮称)札幌市清田地区センターの建設にあたり、住民が建設・運営計画の検討を行うワークショップの運営支援業務。設計前の構想段階からワークショップを開催。4年間をかけて基本構想、基本設計、建設、運営にいたるまで意見交換を行い、計画に反映。平成20年4月に「里塚・美しが丘地区センター」として開設されました。ワークショップ3～4年目に開催した「運営を考える会」では、運営への地域住民の関わり方を検討。ワークショップ中心メンバーによる地区センター運営サポート組織「未来委員会」が設立され、現在も地域住民と指定管理者の協働のもと、施設をベースにした企画やコミュニティ活動が活発に行われています。

